(桜川市行政評価システム) 記入年月日 令和 3年度 事務事業評価表(令和 2年度 の実績評価) 月 事業区分 事務事業名 山桜保全事業 040304001030 新規/継続 継続 事務事業No. 025101 政策体系上の位置付け 単独/補助 補助 所属課 総合計画の施策名 0403 観光の振興 ヤマザクラ課 課長名グループ 政策名 O4 活力ある産業のまちづくり 体 ヤマザクラグループ 施策名 O3 観光の振興 04 4ヤマザクラを生かした観光振興 系 担当者名 手段名 財務会計上の位置付け 業期 会計 款 事業 細 一般会計 単年度繰返し (平成30 年度~) 予算科目 01 02 01 18 01 00 ヤマザクラの里づくり事業 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入 法令根拠 桜川市ヤマザクラ保全活用計画 事務事業の現状把握(その1) $[D_0]$ (1)事務事業の概要 ①事務事業の概要(事務事業の全体像) ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 「ヤマザクラと市民の幸せが咲くまち桜川」を実現するため、平成31年2月20 桜川市ヤマザクラ保全活用計画の推進 (1) 名勝・天然記念物のサクラの保全(2) 里山の保全(3) 人材の育成の基本方針に基づき、(仮) 山桜保全活用委員会の設置運営事務、山桜苗木育成圃場管理、文化財保存(天然記念物のサクラ) に関す 日に策定した「桜川市ヤマザクラ保全活用計画」を推進し、山桜の保全管理や 山桜文化の醸成など、特色あるまちづくりを進める。 る業務を行う。 段 (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、 指標値の推移 01年度 02年度 03年度 04年度 05年度 ①手段 (担当者の活動内容) ④活動指標 (活動量を表す指標) 単位 (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 1.00 山桜保全活用委員会の開催回数 0.00 0.00 1.00 1.00 桜川市ヤマザクラ保全活用計画の推進 ・(仮)山桜保全活用委員会の設置運営事 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00

	(令和2年度~)							0.00	0.00	0.00	0.00
・山桜苗木育成圃場管理・文化財保存(天然記念物「桜川のサクラ」)に関する業務							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②\$ <u>ī</u>	象(誰、何を対象にしている	るのか)	⑤対象指標 (対	象の大きさを表す指	票) 単位	O1年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	O4年度 (目標)	05年度 (目標)
				桜川市の人口		人	39,692.00	38,905.00	38,118.00		36,544.00
市民							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3意		この事業によって対象を	をどう変え		象における意図の達 表す指標)	^{成度} 単位	O1年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	O4年度 (目標)	05年度 (目標)
山桜と自然環境の保全を通じて、地域の課 題解決につなげ、「ヤマザクラと市民の幸				山桜後継樹育成2 部)	▶数(高峯・雨巻・	磯本	440.00	175.00	300.00	300,00	300.00
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
פאינ	せが咲くまち桜川」を実現する。						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(3)	(3) 投入量(事業費)の推移					03年度(計画)					間限定 浴投入量
		国庫支出金	千円	880	0	(116)	0			n/v	
	財	県支出金	千円	0	0		Ö				0
投事											0
投事	源	地方債	千円	0	0		0				
投事業	源内	地方債 使用料・手数料	千円	0	0		0				0
投事業	源的人	使用料・手数料その他	千円	0	_		0 6,578				0
投業費入	訳	使用料・手数料 その他 一般財源	千円 千円 千円	0 0 930	0 2,921 6		0 6,578 1,272				0
費		使用料・手数料 その他 一般財源 事業費計(A)	千円 千円 千円 千円	930 1,810	0 2,921 6 2,927	-	0 6,578 1,272 7,850				0 0 0
費		使用料・手数料 その他 一般財源	千円 千円 千円	0 0 930	0 2,921 6		0 6,578 1,272 7,850				0
】 入 —		使用料・手数料 その他 一般財源 事業費計(A)	千円 千円 千円 千円	930 1,810	0 2,921 6 2,927	-	0 6,578 1,272 7,850				0
】 入 —		使用料・手数料 その他 一般財源 事業費計(A) 規職員従事人数	千円 千円 千円 千円	0 0 930 1,810 1.00人	0 2,921 6 2,927	-	0 5,578 1,272 7,850	3年度事業費	予算(千円)		0
入 量	〇 需用	使用料・手数料 その他 一般財源 事業費計(A) 規職員従事人数	千円 千円 千円 十円 人	0 0 930 1,810 1.00人	0 2,921 6 2,927	4.00人	0 5,578 1,272 7,850	400	予算(千円)		0
入 量	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	使用料・手数料 その他 一般財源 事業費計(A) 規職員従事人数	千円 千円 千円 人	0 0 930 1,810 1.00人	0 2,921 6 2,927	4.00人 07 報償費 08 旅費	0 5,578 1,272 7,850	400 690	予算(千円)		0
入 量 111	〇 需用	使用料・手数料 その他 一般財源 事業費計(A) 規職員従事人数	千円 千円 千円 十円 人	0 0 930 1,810 1.00人	0 2,921 6 2,927	4.00人 07 報償費 08 旅費 10 需用費	0 5,578 1,272 7,850	400 690 182	予算(千円)		0
カ 量 <u> 111</u>	〇 需用	使用料・手数料 その他 一般財源 事業費計(A) 規職員従事人数	千円 千円 千円 十円 人	0 0 930 1,810 1.00人	0 2,921 6 2,927	4.00人 07 報償費 08 旅費	0 5,578 1,272 7,850	400 690	予算(千円)		0
	〇 需用	使用料・手数料 その他 一般財源 事業費計(A) 規職員従事人数	千円 千円 千円 十円 人	0 0 930 1,810 1.00人	0 2,921 6 2,927	4.00人 07 報償費 08 旅費 10 需用費	0 5,578 1,272 7,850	400 690 182	予算(千円)		0
カ 量 <u> 111</u>	〇 需用	使用料・手数料 その他 一般財源 事業費計(A) 規職員従事人数	千円 千円 千円 十円 人	0 0 930 1,810 1.00人	0 2,921 6 2,927	4.00人 07 報償費 08 旅費 10 需用費	0 5,578 1,272 7,850	400 690 182	予算(千円)		0

2,927

合

計

7,850

合

計

_							
	事務事業名	山桜保全事業	事務事業No.	40304001030	所属課ヤマザクラ課		
		始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたの					
	4成31年2月20日に 2行う。	二策定した「桜川市ヤマザクラ保全活用計画」を推進	し、山桜の保主官理	や川桜又化の醸成など、	特色めるよりづくりを進めるにめ		
'`	213 20						
(E)	この事務事業に対	1 才問後者(序史)議会、東盟前免者、利害問係者)	かただんな辛用があ	可はが実みこれていてか			
		して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者) 念物のサクラの保全:地域資源を大切に守っていころ					
		3初のグラフの保主・地域質源を大切によっていこう 企業等の山桜植樹活動の実施。(3)人材の育成:小学					
(Se	ee】 2. 評価の部	*原則は事前評価。					
	2. 11 11 25 15	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	項 目				
(1)政策体系との整合	生 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意	[図することが結果に結	びついているか?)			
現	結びついている		市の政策体系に結び	ういている			
状	MICO DVI CVIO		では、大学の大学を	20100100			
維定	公共関与の妥当性	(なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金	を投入して、達成するB	目的か?)(法定受託事業は	まその名称)		
持一	妥当である	「ヤマザクラと市民の幸せが咲くまち桜川」	を実現するため、努	当である。			
					\$40/d		
(3	③ 成果の向上余地	(成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とある/	くさ水準との差異はない	1か?何か原因で成果向上た)期待できないのか?)		
	向上余地がない	桜川市ヤマザクラ保全活用計画の方針に基づ	き、(仮)桜川市山	桜保全活用委員会の意見	見も伺いながら、事業内容等の見直し		
. -	原止・休止の成果	への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無	とその内容は?)				
有効	影響有		においても影響があ	් ට			
性							
(5		今・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありる	きすか?(市以外の取り	組みも含む))			
	(他に手段かめる場	合) 具体的な手段、事務事業名					
	余地がない				文化財保存活用計画の作成(文化財担		
幼一	多事業費・人件費の	削除余地(成果を下げずに事業費を削除できないか?	'やり万を工夫して処	:八業務事業を削減でさん	\$(175,5)		
率性	削減余地がない	最小限の事業費、人件費で事業を実施してお	り削減の余地はない	0			
公戸	り受益機会・費用負						
平性	公正・公平である	────────────────────────────────────	を実現するため、市	が策定した桜川市ヤマナ	ザクラ保全活用計画を推進するための		
(P)		Rの総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映 ノての評価結果 (2)) 全体総括(振り返り	1 后坐占)			
					5保全活用計画」の進捗としては、コ		
1	目的妥当性 ■	適切 見直し余地あり ロナ禍の)ため桜川市ヤマザク	プラ保全活用計画委員会を	を開くことができなかったが、名勝桜		
_	有効性 ■				更(土壌調査)については文化財課と F12月18日付で許可がおり12本実施		
_	効率性 公平性 ■	- 適切 □ 見直し余地あり ¬ 連携しき 適切 □ 見直し余地あり □ した。	170Z#11/30L1C4		「12月10日はて計画があり12年天旭		
	_						
(3)	今後の事業の方向				(4)改革・改善による期待成果		
	□終了■糺	(複数E 迷続 ─ □ 改革改善を行う (□ 目的	答可) の再設定 □	効率性の改善	(終了・廃止・休止の場合は記入不要)		
		□ 有効	性の改善 🗌	公平性の改善	コスト		
	□ 廃止 □ 仅	、止 ■ 現状維持	合ができる 🗆	連携ができる 丿	削減 維持 増加		
(5) 改革 改善を事	現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策					
(3	/ W - , W-27				成維		
					果持		
					低下		
					(6)事務事業優先度評価結果		
					成果優先度評価結果 ②		
[Cł	neck】 4. 確認及	ひひ改革改善に向けての指摘事項					
(1		(2)) 部長確認及び評価	西 (課長評価により、	C、D判定及び確認が必要な場合)		
課長確認後の評価 確認欄							
	A:継続(· 現状維持) C:終了、廃止、休止	TIN THE STATE OF T				
	A B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出					